

Title	大沼晴暉教授略年譜并執筆一覧
Sub Title	Professor Haruki Ohnuma: summary of academic career and list of work
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2010
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.45 (2010.) ,p.378- 384
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	大沼晴暉教授退職記念
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20100000-0378

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

大沼晴暉教授略年譜并執筆一覽

昭和一九年四月二三日、東京上落合に生まる。産婆は「イヌミタカ婆さん」の通称で知られた名物産婆高見ヌイ。息男は早稲田の数学教師や演奏家として著名。未熟児の双子で五一〇匁、戦時中でもあり、母親は生かすためにたいへんな思いをしたようである。私より丈夫だった五五〇匁の片割れは、一月ほどのち腸重積のため死去。

戦火烈しく、両親の国元でもある岩手盛岡に疎開、小学校入学の一日前に上京、小平に棲まう。都会に馴染めぬこと現在に至る。

昭和三九年四月、慶応義塾大学文学部入学、四三年三月、卒業（国文学専攻）。卒業論文「変通軽井茶話」。同年四月、大学院文学研究科入学、四五年三月、修了（国文学）。修士論文「鈴木牧之」。指導、森武之助師。当時、日本常民文化研究所に職を得たいと思い、同所を尋ねたことがある（その経緯は「追悼河岡武春先生」に詳しい）。

昭和四五年四月、三ヶ年常勤嘱託として斯道文庫に勤務。これは図書整理をしていた草森紳一氏のあと空席となつていたもの。四六年一〇月結婚。四七年二月から四月にかけて、阿部隆一氏等と台湾に出張、宋元版の調査を補助。

昭和四八年四月、専任として斯道文庫助手。五四年助教、平成四年一〇月主事兼任、一九九年教授、二二年三月定年退職。この間文学部で、民族学・考古学実習（五九年より民族学・考古学特殊）、五八年より阿部隆一氏の斯道文庫講座を紹ぎ、大学院で書誌学の実修を行う。

昭和六一年四月より二今年、東洋大学文学部に出席（日本書誌学）、あとは林望氏に託す。

平成一一年四月より定年次まで駿河台大学文化情報学部に出講（書誌学・半期）。

平成三年四月より、小平市文化財審議会委員、同五年四月より、小平市図書館協議会委員、共に現在に至る。

参考までに最終年度の講義要項を掲げる。

民族学考古学特殊「比べ考える」 授業科目の内容…1、山尾三省「アニミズムという希望」（琉球大学での集中講義録・野草社）を読みながら、アニミズムについて考える。2、金関丈夫の著作（法政大学出版局など）を読みながら、博物・人類学について考える。このどちらかをと思っています。参加する学生との話し合いの上で決めます。「この年の履修者は、アイヌの風についての心性を調べているという学生一人で、結局一対一で一年間アニミズムについての講義を行った」

斯道文庫書誌学講座「校べ勘える」 授業科目の内容…書誌学とはどういう学問か、その基盤となる考え方を説明します。授業の計画…1、校べ勘える 2、図書とは何か 図書・図書館・図書館学、本・書・書誌・書誌学 3、同じか違うか 同版・別版・覆刻、写・転写・影写 4、本の一生、刊・印・修 5、書物とその形 6、装訂とその変遷 7、印刷とその歴史（唐山・李朝・日本） 8、書物とその部分名 9、本の調べ方 10、目録についてなど 参考書…その時々々の授業の折に説明します。

- 1 筥及び類似形態の用具 (一) (二) 民具マンスリー六―五・六合併号 (昭和四八年九月) 同七―五・六合併号 (昭和四年九月)
- 2 大かうさまくんきのうち 翻字 解題 汲古書院 (昭和五〇年二月)
- 3 ヅ・ウケ・鮎スクリ 民具マンスリー八―五 (昭和五〇年八月)
- 4 外国文献の筥 第二回民具研究講座 (昭和五〇年一月)
- 5 交通と交易 沼津内浦の民俗 (沼津市教育委員会 昭和五二年三月)
- 6 内浦・西浦の運搬具から (沼津市歴史民俗) 資料館だより二 ― (昭和五一年五月)
- 7 筥のはなし・内浦の筥 あるくみるきく一―三号 (昭和五一年七月)
- △モジリ (筥) うけ の話 (沼津市歴史民俗) 資料館解説シリーズ 五 (昭和五二年三月) に摘録・増補
- 8 漁民と信仰 沼津静浦の民俗 (沼津市教育委員会 昭和五二年三月)
- 9 池田草庵 青谿書院藏書誌 (共) 池田草庵百年祭奉賛會 (昭和五二年九月)
- 10 江戸時代 孝経類簡明目録 (共) 斯道文庫論集一四 (昭和五二年二月)
- 11 三浦梅園自筆稿本並舊藏書解題 (共) 安岐町教育委員会 (昭和五四年五月)
- 12 榊原芳野『豆腐集説』 (翻字並解題) 飲食史林二 (昭和五五年七月)
- 13 清朝以前成立孝経類目録 斯道文庫論集一八 (昭和五七年三月)
- 14 江戸時代 行邦人撰述学庸注釈書類簡明目録 斯道文庫論集一九 (昭和五八年三月)
- 15 信長記・大かうさまくんきのうち・甲陽軍鑑 研究資料日本古典文学②歴史・軍記・歴史物語 (明治書院 昭和五八年六月)
- 16 斯道文庫 慶應義塾大學報一四四 (昭和五八年八月)
- 17 図書の形態と機能 三田評論三 (昭和五九年三月)
- 18 海山のあいだ 想像二四 (昭和五九年四月)
- 19 豆腐集説解題補 飲食史林五 (昭和五九年四月)
- 20 本朝食鑑 日本古典文学大辞典五 (岩波書店 昭和五九年一月)

△なお、本文中覆刻の語は編修者の改変につき、影印とする。

21 編輯後記 阿部隆一遺稿集二（汲古書院 昭和六〇年一月）

22 孝経目録補遺並江戸時代孝経刊行年表 斯道文庫論集二一

（昭和六〇年三月）

23 海山のあいだ 海とにんげん（新宿書房 昭和六〇年六月）

△18の増補再録

24 大阪府立岸和田高等学校和漢書目録 大阪府立岸和田高等学

校（昭和六〇年九月）

25 文献資料と民具 民具研究ハンドブック（雄山閣 昭和六〇

年一月）

26 酒井家文庫綜合目録（共）小浜市立図書館（昭和六二年一月）

27 森家森梅園先生手稿手寫本目録・同解説 味道館主梅園森周

一郎先生とその門人（味道館主梅園森周一郎先生顕彰会

昭和六二年三月）

28 大阪府立岸和田高等学校和漢書目録追補 大阪府立岸和田高

等学校（昭和六二年三月）

29 今語っておきたいこと 追悼河岡武春先生（神奈川大学日本

常民文化研究所 昭和六二年三月）

△題名は編修者の命名、無題又は大題とする。

30 松任本誓寺自華文庫目録（共）松任市中央図書館（昭和六三

年四月）

31 東京都立立川高等学校和漢書展観目録 紫芳会（昭和六三年

五月）

32 編輯後記 阿部隆一遺稿集四（汲古書院 昭和六三年七月）

△なお第一卷所収「著作目録」に、「福澤百助の學風（上）

（下）——その手澤本より見たる——」福澤論吉全集附録第二・

三卷（岩波書店 昭和三四年二月・四月）を附加する。

33 最古の歌稿 水晶一（昭和六三年九月）

△以下三六（平成三年八月）まで連載 佐渡の旅から・二十

一の歌集の誕生・江戸の歳暮・蛇の象徴性・遠藤さんの修

補——時間の復元——煤の贈物・小さきものの死・自然暦・

四国の旅（一）〜（三）・俳言・和習俗習・字あまり字た

らず・能登の旅から——音——馬の博物館・三平の落語と俵

万智の歌（二）〜（四）・対馬の旅から（二）〜（四）・小

野篁歌字尽（二）〜（三）・羊・鹿の子まだらに・サとい

う神・花鳥日記・風の音ない・屋久島行・ツユの四季（二）

34 立川高校所蔵和漢書の著録を終えて 紫芳会報七（昭和六三

年八月)

35 白石克編『広重 東海道五十三次』三田評論二(平成二年二月)

36 浜野文庫善本略解題(一)〜(六) 斯道文庫論集三・二四・

二五・二七・二九・三〇(平成一年三月・二年三月・三年三月・五年三月・六年二月・八年一月)

37 書誌学用語あれこれ 一、刊・印・修 二、覆刻・影印など

名著サブリメント三一・二・九(平成二年一月・八月)

38 蔵書概要 斯道文庫三十年略史(慶應義塾大学 附属研究所 斯道文庫 平

成二年一二月)

39 莫妄想 人海戦術(昭和28年〜27年度)慶応義塾高等学校3

年M組クラス会 平成三年二月)

40 城北学園深井文庫目録 城北学園(平成三年一月)

41 和漢書善本百選展示会図録(共) 丸善(平成四年一月) 85

新刊吾妻鏡87拾芥抄88医方大成論91前関白秀吉公御檢地帳
之目録・朝鮮国御進発之人数帳・政要抄92白氏文集93剪燈

夜話94南浦文集

42 神奈川県立横須賀高等学校所蔵吉田庫三文庫目録(共) 神奈

川県立横須賀高等学校校友会(平成五年三月)

43 松本隆信氏の計 日本歴史五(平成五年五月)

△なお文中、新潮社『お伽草子の世界』を三省堂と改む。

44 佐々木茂市編『日本絵入商人録』(明治十九年六月刊) 三田

評論五(平成五年五月)

45 漢籍善本紹介―斯道文庫(上)― 新しい漢文教育一六(平

成五年五月)

46 池田草庵森梅園師弟の手稿本調査撮影を終えて 味道館主梅

園森周一郎先生とその門人續(味道館主梅園森周一郎先生

顕彰会 平成五年九月)

47 色の本 森銑三著作集月報一五(中央公論社 平成七年二月)

48 広漢魏叢書 三田評論三(平成七年三月)

49 「孫引き」で見る読書あてっこ名人達 ノーサイド五(平成

七年五月)

△原題「孫引きで見える読書あてっこ名人」、許容範囲か。土

井 聳牙裔次生氏より、文藝春秋宛に「これではまるで見世
物のようではないか」というお叱りの手紙を頂戴した。そ
の話をしていると、子共が百発百中の語がいけないと云う。

全くそうだ。よって百発百中の語を、発必中と訂正する。

50 東北大学附属図書館蔵「尚徳堂書目」所収孝経異本目次―翻字並解

題一 斯道文庫論集三二 (平成九年一月)

一〇年三月)

51 慶應義塾大学 斯道文庫貴重書蒐選 図録 慶應義塾大学 斯道文庫
附属研究所 平成九年二月) 安井文庫・20 洗獅日乘 21 三計塾学規 22 年

57 書誌学 歴史学事典六 歴史学の方法 (弘文堂 平成一〇年一
二月)

譜 23 班竹山房蔵書目・浜野文庫・24 谷沢九輔 25 文化十五 寅
曆 26 文政二 己 卯 曆 27 憐堂日曆 28 (典籍開雕意見) 29 縮刻唐

58 農具便利論 三田評論一 (平成一一年一月)

開成石経 30 孟子 31 五経文字 32 尺準考 33 本朝度量權衡 34 新撰

59 藍澤氏三餘堂旧蔵書目録 斯道文庫論集三三 (平成一一年二
月)

字鏡 35 新撰字鏡 36 好古小録 37 日本現在書目録 38 箕窓摘藁 39

60 阿部隆一・標点本・批点本・墨囲・眉標・耳格・中縫・象鼻・
上象鼻、下象鼻・官銜・列銜・墨格・白匡・漫漶 日本古
典籍書誌学辞典 (岩波書店 平成一一年三月)

白氏文集林家跋文 40 歳寒堂遺稿 41 歳寒堂遺稿 42 日本書紀私

記 104 四分律藏第三分尼出家捷度

52 太田全斎 (方) 著『韓非子翼説』三田評論一〇 (平成九年一
〇月)

△官銜・列銜補 ただ、履歴書のように旧来からの官職を列
記したからの謂のようで、さすれば一人でも列銜と云い得
る。

53 本草学・医学 日本古典文学研究史大事典 (勉誠社 平成九
年一月)

年一月)

61 南山大学図書館所蔵和漢書目録 (共) 南山大学図書館紀要六
(平成一一年五月)

54 「日本中世印刷史」展 丸善 (平成一〇年一月) 66 春秋経伝

集解 67 論語 (集解) 68 論語 (集解) 74 王状元集諸家注分類

62 套印本の周辺 江戸の華浮世絵展 (町田市立国際版画美術館
平成一一年一月)

東坡先生詩 75 増刊校正王状元集註分類東坡先生詩

55 松本市立松原文庫目録 斯道文庫論集三二 (平成一〇年二
月)

63 阿部隆一 蔵 髭剃毛 (翻字並解題) 斯道文庫論集三四 (平成一二
年一月)

月)

56 都立立川高等学校和漢書分類目録 都立立川高等学校 (平成

64 研究経過 聖徳太子伝諸本の総合的研究 (文部省科学研究費

報告書 平成二二年三月

一八年二月

65 刊本「和様・唐様」斯道文庫開設四十年記念小展示パンフレット

75 鯖江市資料館和漢書目録 斯道文庫論集四一（平成一九年二月）

ト（平成二二年二月）

66 日本文華学園 河口文庫目録 斯道文庫論集三五（平成一三年二月）

76 汲古儲藏志〔翻字〕 斯道文庫論集四二（平成二〇年二月）

二月）

67 写本と刊本・卷子と冊子 印刷博物誌（凸版印刷 平成一三年六月）

77 汲古儲藏志（承前） 斯道文庫論集四三（平成二二年二月）

年六月）

68 小平市立久下文庫和漢書目録 斯道文庫論集三六（平成一四年二月）

（平成二二年三月）

79 汲古儲藏志索引〔並解題〕 斯道文庫論集四四（平成二二年二月）

年二月）

69 校べ勘える―牧野富太郎の方法―牧野富太郎藏書の世界（牧野植物園 平成一四年七月）

80 佐川町立西谷文庫漢籍目録 斯道文庫論集四四（同上）

野植物園 平成一四年七月）

81 孝経・書誌学と民俗考古学 書誌学展図録（慶應義塾大学 斯道文庫 平成二二年二月）

70 小平市立久下文庫和漢書目録続編 斯道文庫論集三七（平成一五年二月）

一五年二月）

〔近刊豫告〕

71 人吉市相良文庫目録 斯道文庫論集三八（平成一六年二月）

△慶應義塾大学 斯道文庫蔵浜野文庫目録附善本略解題（汲古書院 附属研究所）

72 熊本県立吉高学校高橋文庫目録 斯道文庫論集三九（平成一七年二月）

△空海からのおくりもの（共）〔展覧会図録〕（印刷博物館）

二月）

73 中世聖徳太子伝集成五卷（共）勉誠出版（平成一七年四月）

△図書大概（汲古書院）

五宝物集・拾遺抄解題・あとがき

他に翻字「秋月物語」「秋夜長物語（文禄五年写本）カ」室町

74 神奈川県立小田原高等学校和漢書目録 斯道文庫論集四〇（平成

時代物語大成一（角川書店 昭和四八年一月）がある。